

追加(オプション)検査について

血液検査

腫瘍マーカー

体内に腫瘍ができると、健康なときにはほとんど見られない特殊な物質が、その腫瘍により大量につくられ、血液中出现してきます。この物質を「腫瘍マーカー」といいます。腫瘍マーカーは、がんの発生臓器と強い関連性を持つ特徴があるため、血液中にこの物質が基準以上に出たときは、詳しい検査が必要です。

名称	部位	注意点
A F P (20ng/ml以下)	肝臓	肝硬変や肝炎(劇症肝炎や慢性肝炎憎悪期)で、肝細胞の壊死が強いときはAFPは陽性になることがありますが、上昇度は数倍以内であり、経時的に上昇することは稀です。胃がんや膵臓がん、胆道がん、大腸がんなどでも、ときに陽性を示すことがありますが、肝臓がんほど高値ではありません。
C E A (5.0ng/ml以下)	胃・大腸 などの 消化器系	消化器系がん以外のがんでも広く陽性を示す反面、健康な人でも約3%の人は基準値を超える場合があるとされており、高齢や喫煙でもやや上昇する傾向があります。がんが進行するにつれて高値となり、基準値の倍以上ではがんの疑いが濃厚、4倍以上では転移がんが疑われます。
C A 19-9 (37U/ml以下)	とくに 膵臓	膵臓がん・胆道がんが80~90%の高い陽性率を示すほか、胃がん・大腸がん・肝臓がんでは30~60%が基準値を超え、肺がん・乳がん・卵巣がんなどでも高値を示します。CA19-9の数値が高く、CA-125なども高値のときは、婦人科系のがんが疑われ、これらの腫瘍マーカーをあわせて検査することは卵巣がんの早期発見に有効です。そのほか、糖尿病・慢性肝炎・胆石症・胆嚢炎・慢性膵炎・子宮筋腫・良性卵巣腫瘍などでも陽性となります。
P S A (4.0ng/ml以下)	前立腺	前立腺がんが疑われるときに、まず行われるスクリーニング(ふるいわけ)検査として位置づけられています。PSAは前立腺がんだけでなく、前立腺肥大症でも血中濃度が上昇しますが、経時的な観察で、1年間に0.75ng/ml以上の上昇では前立腺がんの確率が高くなります。
C A 125 閉経前40U/ml以下 その他25U/ml以下	卵巣 子宮	卵巣がん・子宮がんの特異な反応を示す腫瘍マーカーですが、そのほか乳がん・膵臓がん・肺がん・大腸がんの可能性もあります。また、子宮内膜症・良性卵巣腫瘍・子宮筋腫・肝硬変・腹膜炎・急性膵炎などでも値が上昇します。

☆複数の組み合わせることで精度を高める腫瘍マーカー

シフラ21-1 (2.8ng/ml以下)	主に肺がんの、特に扁平上皮がんが60%~80%という確率で高値を示すマーカーです。SCCと比較して陽性率は高く、さらに治療効果があった場合には数値が低くなり、再発・進行すると数値は上昇するという正確性も優れています。喫煙の有無による数値の乱れが無く、肺の良性疾患と間違える率も低いことから優れたマーカーといえます。
S C C 抗原 (1.5ng/ml以下)	扁平上皮がんを調べる腫瘍マーカーです。肺、食道、尿路、子宮頸癌、性器などを覆う皮膚や細胞の癌化でも反応を示します。扁平とは扁平足と同じく平べったいこと、上皮とは体を覆う表皮や内分泌腺などの細胞の総称で、扁平上皮がんとは臓器や器官などの平らな皮膚細胞にできるがんのことです。

☆数値が高かった場合の見方

腫瘍マーカーは単独の項目だけでは部位を特定することは難しいのですが、複数の項目を比較することで精度を上げることが可能です。



一般的な例ですので、1項目でも基準値外の場合は自分で判断せずに、必ず病院を受診してください。

※腫瘍マーカーの検査は、がんのスクリーニング(ふるいわけ)として行われますが、腫瘍マーカーが陽性だからといって必ずがんがあるわけではなく、反対に陰性だからといって完全にがんが否定できるわけではありません。基準値外の場合はもちろん、基準値内でも、何か気になる体の不調があれば、なるべく早くお医者さんに診てもらいましょう。

萎縮性胃炎

慢性萎縮性胃炎は、胃がん発生と密接な関係を持っており、的確に診断することが胃がんの早期発見に有効となります。しかし、慢性萎縮性胃炎は特有な症状を起こさないため、臨床症状のみによる診断は容易ではありません。慢性萎縮性胃炎と血清ペプシノーゲン I / II 比は高い相関を示すことから、ペプシノーゲン I と II を区別して測定することにより、慢性萎縮性胃炎を診断することが可能となります。

名称	基準値	注意点
ペプシノーゲン I	70ng/ml 以上	ペプシノーゲンとは胃液中に分泌される蛋白分解酵素ペプシンの前駆体であり、ペプシノーゲン I は主として胃底腺の主細胞より分泌されます。胃粘膜の萎縮が進むにつれ、胃底腺領域が縮小していくため量が減少します。
ペプシノーゲン I / II 比	3.0 以上	ペプシノーゲン I が主として胃底腺より分泌されるのに対し、ペプシノーゲン II は胃底腺の他に噴門腺、幽門腺、十二指腸腺に存在します。胃の萎縮が進みペプシノーゲン I が減少すると、I と II の比率も下がります。
<p>※ペプシノーゲンの量は個人差があるため、ペプシノーゲン I が基準値以下というだけでは「要精密検査」とは言えません。しかし、一般的より量が少ないことは事実ですので、定期的に検査をして注意することが必要です。</p>		

※ペプシノーゲン法は、萎縮と関係なく発症する未分化型腺癌や、間接X線法では容易に診断できる進行癌が逆に見逃されることもあります。気になる症状があれば、なるべく早くお医者さんに診てもらいましょう。

ピロリ菌

胃の中は強い酸性に保たれているため、生物は住みつくことができないと考えられていました。しかし、1980年代に胃粘膜の中に生息する「ピロリ菌」の存在が明らかとなり、この菌によって胃炎や胃潰瘍などが引き起こされていることがわかったのです。日本では約6,000万人がピロリ菌に感染していると考えられています。

名称	基準値	注意点
ピロリ抗体	10.0未満	ピロリ菌に感染したときにできる抗体の有無を調べます。ただし、除菌治療を行ったすぐあとは抗体がしばらく残っているため、判定は困難です。

※陽性の場合、ピロリ菌の感染が疑われますが、感染したからといって、潰瘍や胃癌が必ず発症するわけではありません。しかし、感染したほとんどの人に胃炎がおこります。胃が痛いなどの症状があれば早めに専門医の診察を受診しましょう。

便潜血反応

便潜血反応は、抗原、抗体反応を利用したスクリーニング法で、人間の血が便に混じっているかどうかを調べます。多くの大腸がんは出血しやすく、便などの刺激で少量の血を流し続け、その血は胃液や唾液で消化されず人間の血の抗原性を保ちます。少量なので目には見えません。しかし、肛門からの出血や痔などでも陽性になります。逆に、胃や十二指腸の少量の出血は消化され人間の血ではなくなるので、反応しません。こういった機序から、**大腸がんのスクリーニング検査**として使われます。

がんの中には出血を伴わない場合もあり、また、盲腸のがんのように病変が便の通り道にない場合には陰性になることもあります。逆に、肛門の傷や腸のちょっとした炎症でも陽性になります。しかし、便潜血反応陽性の方は、陰性の方に比べて、癌の確率が10倍もあり、また、ポリープなどの前癌病変の頻度も同様に高いといわれています。陽性(+)の場合はお早めに**内視鏡検査**を受けられることをお勧めします。

喀痰検査(細胞診)

喀痰検査とは、痰を採取して、その中にどのような病的な成分が含まれているかを顕微鏡で観察する検査です。痰は呼吸器系の粘膜からしみ出る分泌物で、その成分には、肺や気管支、咽喉頭など気道からはがれた細胞も含まれています。肺がんは、痰の中にがん細胞が排出されることも多く、そのため肺がんの診断の一つとして喀痰細胞診が行なわれています。

ここでいうタンは、肺の中に入ろうとする細菌やゴミを外へ出す為に細かい気管支から分泌された粘液様のものです。透明で粘液様であってもタンであれば必ず組織球という細胞が含まれているので、顕微鏡で検査する時にタンだと分かります。唾液(ツバ)では正確な判定ができませんので、採取のときは注意しましょう。

健康診断 | 基本セット

身長／体重／腹囲／尿検査(蛋白・糖・潜血)／視力／聴力／血圧／胸部X線／診察／採血(肝機能・脂質・糖代謝・腎機能・膵機能・貧血)／心電図 (法定健診内容／基本料金に含む)

健康診断 | 検査オプション がんなどに代表される体の異常を早めに見つけないか？



血液検査

※税込価格

通常の血液検査に検査項目を追加することで
体の異常を早期に見つけられる場合があります。
検査当日でも申込できます。

4項目セット

¥6,600-

AFP(肝機能)／CEA(消化器系)／CA19-9(膵臓系)／
PSA(前立腺)※男性のみ／CA125(子宮・卵巣がん)※女性のみ
幅広い消化器系と性別ごとの臓器のがん検査

肺がんセット

¥4,400-

SCC抗原／シフラ21-1／CEA(消化器系)
タバコを吸う方におすすめ

レディースセット

¥4,400-

CA125／SCC抗原／CA19-9
子宮・卵巣がんなどの検査

甲状腺ホルモン検査

¥4,400-

FT3／FT4／TSH
ホルモン濃度が適切かどうかをチェック!

リウマチ検査

¥4,400-

RF／CRP／抗CCP抗体
手指の腫れや痛みが気になる方へ

胃萎縮検査

¥3,300-

ペプシノーゲン
胃の萎縮は胃がんリスク増大に

胃ピロリ菌検査

¥3,300-

ピロリ菌抗体
ピロリ菌は胃炎を起こし、胃萎縮の原因に

糖尿病検査

¥550-

HbA1c
糖尿病の前兆を早期発見するために!

新型コロナウイルス抗体検査

¥5,500-

IgG抗体

コロナの抗体ができていないか確認したい方へ

血液型検査

¥550-

ABO(AB抗原・抗体)／Rh(D抗原)
自分の血液型が分からない方へ



検査キット

自宅で簡単採取できる検査キットをお届け
します。採取後、検査日にお渡しください。

便潜血

¥1,540-

大腸の炎症、潰瘍、がんなどの検査

子宮頸がん(細胞診)

¥3,300-

子宮頸がんを早期発見

肺がん(細胞診)

¥3,300-

肺がんを早期発見

新型コロナ感染症遺伝子検査

¥11,000-

今、コロナに感染しているかを確認